

みなさん、おはようございます。この夏休み中、大きな事故等の報告を聞くことはありませんでした。こうして、元気そうなみなさんと会えたことを本当に嬉しく思います。

もしも夏休み中に自分のことや家族のことで心配なことができたという人は、どの先生でもいいので、相談しやすい先生に相談してください。一人で悩まないでください。

夏休み中に第2回のオープンハイスクールがありました。体験授業では何人かの生徒にも手伝っていただきましたが、先輩の姿は中学生から好印象でした。ありがとうございました。

さて、1学期の終業式で野球部の活躍をお伝えし、急遽、キャプテンにステージに上がってもらいました。その後の試合、予選ブロック（全部で16）の代表決定戦では舞子高校との激戦を2-0で勝利して県宝初のベスト16、5回戦に進出しました。4回戦までの試合はすべて完封勝利だったものの、決して楽勝ではありませんでした。初戦の明石北戦ではノーアウト満塁、絶体絶命のピンチがありましたが凌ぐことができました。本当に選手たちの気持ちの強さを感じました。今年の野球部は挨拶から変わったと思います。そうした日々の気持ちの持ち方、姿勢が良い結果に繋がったとも思っています。

応援に来ていた生徒も歌っていたと思いますが、改めて校歌を歌える幸せを感じました。やっぱり校歌が歌える、っていいですね。新チームもこれからしっかりと鍛えて頑張ってください。野球部以外の部活動も活躍を期待しています。

野球と言えば、夏の甲子園大会を見た人も多いのではないのでしょうか。沖縄尚学の優勝で幕を閉じましたが、この選手を知っていますか？

県立岐阜商業高校 横山温人（よこやま はると）選手。

今の動画を見て、彼の努力が並大抵の努力でないことはわかると思います。優勝候補の横浜高校に劇的な勝利を収めてベスト4になりましたが準決勝で日大三高に負けてしまいました。準決勝の試合後、取材で「自分のような境遇の子に勇気とかを持ってもらえたかなと思います。周りの人たちにも、困難があっても乗り越えられるような勇気を与えられたかなと思います。」と話していました。

今の彼があるのは、自分だけの努力ではありません。家族をはじめとする彼をサポートしてきた人たちの存在があります。彼はそのことも十分にわかっていて感謝の気持ちを述べています。その中で、私はある記事のコメントが心に残っています。

「監督は特にやっぱり自分を使うのはとても勇気があることだと思った。周りの目を気にせずに、周りの子と関係なく自分を使ってくれた」との監督への感謝の言葉です。

自分は人一倍努力したからレギュラーになったんだとおごることなく、状況を冷静に考え、監督の立場、判断を思いながら、ハンディがあっても周りの選手と同じように見てくれたことに感謝する、その素晴らしい人間性に惹かれました。

実は、彼は入学時はピッチャーでした。1年の秋に前監督の鍛冶舎（かじしゃ）監督にこう伝えたそうです。

「夜分すみません。ピッチャーをやってみましたけども、とてもこのままじゃベンチに入れない。だからバッターで勝負をしたい。バッターというのはピッチャー以上にハンディは大きいだろうけど自信がある。バッターで勝負させてください。外野手がやりたい」

人一倍努力して自分が言ったことを成し遂げました。また、準決勝で負けた後には、

「大学でももっとレベルアップできるようにこれからも『顔晴って』行きます！」

鍛冶舎前監督は

「『顔晴る（がんばる）』はね『顔を晴れやか』に。どうせ厳しいことをするなら顔を晴れやかにやろうと。グラブを持ち替えたのも自分だし、バッターに挑戦したのも自分だし。自分ですべて自分の将来を切り開いてここまで来ましたよね。立派です」

1学期の終業式でお話ししましたが、自分の人生に責任を持てるのは自分だけです。自分の人生を切り開けるのは自分とも言えます。

私は、自分のことを、（相談はしているのかもしれませんが）自分で考えて決め、謙虚さを失うことなく、努力を続ける姿を本当に素晴らしいと思いました。皆さんは横山選手から何を感じるでしょうか。

2年前に『下剋上球児』というドラマがありました。地域で一番の悪い学校で、他の学校が練習試合を嫌がる・・・そんな学校が甲子園に出場するドラマです。私はドラマ最終回が終わってから、これは実話に基づくものだと思いました。ドラマの最終回、南雲監督（鈴木亮平）の言葉が素晴らしかった。

「負けても終わりじゃない。必ず次がある。次を目指している限り人は終わらない」
目標に向かって努力できる人生、って素晴らしいことなんです。横山選手ではないけど、自分で自分の道を切り開いていける可能性がある、っていいですよね。もちろん、目標に届かないことだってあるでしょう。でも、次を目指して努力していれば、別の道が見えてくるんです。努力を消極的なこと（努力しなければならない・・・）に捉えていませんか。何かに前向きに努力する高校生活であってほしいと願っています。

2学期は修学旅行や体育大会など大きな行事があります。本校の体育大会はブロック演技があり、3年生がリーダーシップを発揮します。今年も3年生の皆さんが伝統を引継いでくれることを期待しています。